

EA934YD-2仕様

加硫セメント(はけ付き 235ml)



< 特徴 >

加硫セメントは、はけ付きタイプのセメントで、タイヤ内面の修理やチューブタイヤ修理の際、手を汚さず簡単に使用出来ます。

< 対応品番 >

#915	EA934YB-3
#270	EA934YG-3
#271	EA934YG-6
#S-1035	
#704A	EA934YL-1
#760	EA934YD-2
#260W	
#S-1036	
#S-1036K	
#S-2032	
#S-999	
#933	EA934YB-5
#738	EA934YK-2

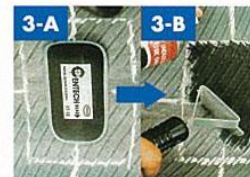
内面修理ステム作業手順



1 傷口に刺さっている釘等の異物の角度を確認しながら抜き取る。スパイラルツール(#915)で角度とセパレーションの有無を確認する。



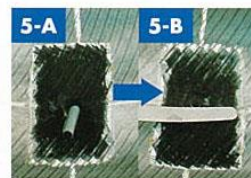
2 カーバイトカッター(#270・#271)をエアードリル(S-1035)にセットして、タイヤ内側より5回程出し入れする。外側からも同様に5回出し入れしてステムベルトを処理する。
※ドリルの回転数は1,200回転以下の物を使用すること。(ゴムの焦げを防ぐ為)



3-A 傷口の中心よりクレヨンで十字マークを入れ、センテックパッチを傷口の中心に合わせ、パッチ表面の(BEAD▶)マークをBEAD方向に向け、クレヨンでパフエリアをマークする。(写真3-A)
3-B マークしたエリア内にバッファー液(#704A)を吹きつけ、スクレーパー(#933)で汚れやシリコン等を取り除く。(写真3-B)



4 スパイラルツール(#915)にセメント(#760)をたっぷりつけ、タイヤの内側より右回転で傷穴にたっぷり押し込む。
※セメントをたっぷり流し込むことにより加硫がより確実になり、またステムも通し易くなる。



5-A ユニシールステムを通し棒(#260W)にセットし、タイヤ内側より表面に向けて引き出す。(写真5-A)
5-B ※表面にグレーのゴムが1~2cm出た所で引き抜くのを止める。加硫が進行する間(約30分)乾燥させ内側を少し残しナイフでカットする。(写真5-B)



6 低速エアバッファー(S-1036又はS-1038K)にラバーフック(S-2032)をセットし、ステムの残っている部分からパフし、パフエリア内を平らになる様にする。パフしたゴムかすをエアバキューム(S-999)で吸い取り、バッファー液(#704A)を吹きつけ、スクレーパー(#933)で残っているゴムかすを削り取る。さらにバッファー液をウエスにしみ込ませてパフ面をきれいにふき取りよく乾燥させる。(約2~3分)



7 セメント(#760)をパフした所に均一に塗り、3分前後乾燥させる。
※セメントは完全に乾燥させること。(季節、気候によって乾燥時間が異なります)



8-A センテックパッチの中心に傷口の中心に合う様にBEAD方向に合わせて貼り、中心より外側に向けてローラーで強く圧着する。(写真8-A)
8-B パッチを貼った後、パッチ周辺のインナーライナーを修復する為、セキュリティコート(#738)をパッチのエッジにかぶせて塗る。(写真8-B)
※即走行可能 ※約15分で乾燥し、黒色に変色します。



9 タイヤ表面に出ているユニシールステムを2~3mm残してカットする。これで修理は完了です。